

【教育目標】

- よく考え、最後までやりぬく子(知育)
- 思いやりがあり、助け合う子(徳育)
- 進んで体をきたえる子(体育)

【めざす学校像】

児童や教職員、一人一人が持つ良さと強みが発揮できる学校
～6年生がお手本となる学校～

学校だより

「はんだますい」

開き・関わり・育む

第2号
(R8.4.27)

坂田小学校
校長 金城美奈子



～坂田小学校創立 80 周年記念式典に向けて～ 坂田小学校 4 月 30 日で 80 歳！

本校は、今年度、創立八十周年という大きな節目の年を迎えました。これまで長い年月にわたり、本校の教育活動を支えてくださった地域の皆様、保護者の皆様、そして多くの先輩方に、心より感謝申し上げます。さて、坂田小学校創立八十周年記念式典を 4 月 30 日（木）5 校時に挙行いたします。

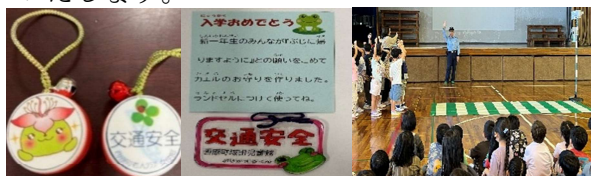
式典では、西原町長、教育長はじめ関係各位、地域の方を招き、本校のこれまでの歩みをふりかえり、先人の努力や思いに触れながら、未来へ向けて新たな一歩を踏み出す機会としたいと考えています。

4 月 22 日（水）の朝会は、坂田小学校の歴史やこれまで大切に受け継がれてきた学校のよさなど「本校のあゆみ」について校長講話を行いました。各学級では、「本校のあゆみ」を捉え、これからも自分の通う坂田小学校が楽しい学校としてパワーアップするために「自分ができることは何か」をテーマに話し合いを行い、学校を大切に思う気持ち（愛校心）を育てる取組を進めています。子どもたちが、80 年の歴史を自分ごととして受けとめ、学校の一員としての誇りと責任を感じながら、よりよい坂田小学校をつくっていくとする姿勢を育むことが、本記念事業の大切な目的の一つです。八十周年という節目を、子どもたち一人一人の心に残る学びの機会とし、これから先も地域に愛される学校であり続けられるよう、教職員一同取り組んでまいります。一年生につきましては、入学間もない時期で、現在スタートカリキュラムの最中であること、また 50 分（予定）の式典への参加が心身の負担になることを考慮し、式典への参加は見合わせることに致しました。この時期の一年生にとっては、学校生活のリズムを整え、安心して学校生活を送ることが何よりも大切であると考えております。ご理解とご協力をお願いいたします。

坂田っ子を守る地域の力

本日、1 年生を対象に宜野湾警察署交通課、生活安全課、地域課、少年課、警察本部から腹話術の講師の方、浦添市交通安全母の会の方をお招きして「交通安全教室」を行いました。命を守るためのルールとして、「車が通る所では遊ばない。」「道を渡る時は横断歩道を渡る。」「横断歩道の正しい渡り方」「不審者対応・いかのおすし」「海で遊ぶときはライフジャケットを着用する。」等、大切な心得を学ぶ事ができました。大事なことはそれを実行できることです。学んだことを行動に移して自分自身を守るよう、横断歩道の渡り方などを含め、各ご家庭でも再確認を宜しくお願いいたします。

また、先日、子ども達を見守る地域の力として西原町老人クラブ連合会と坂田児童館から手作りのお守り贈呈もありました。地域の宝である子供達への温かい心遣いに感謝いたします。



救命救急講習会～校内研修～

4 月 8 日（水）、本校養護教諭の稲福亜沙子を講師に、エピペンの正しい使用方法（アナフィラキシーへの対応）や救急搬送時の動きを確認する模擬訓練など、校内研修を実施しました。尊い子どもたちの命を預かる学校として、万が一の事態に適切かつ迅速に対応できることは、職員一人一人に求められる重要な責務です。今回は、その意識を改めて共有するとともに、全職員が参加し、2 時間にわたって実践的な研修を行いました。今後も、子どもたちが安全・安心に学校生活を送ることができるよう、日常の安全指導はもちろん、万が一に備えた研修や訓練を重ね、危機管理体制の充実に努めてまいります。

